

今号に「ぐんま広報7月号」が折り込まれています。ぜひご覧ください。

群馬県議会だより 第105号

題字は群馬県立吉井高等学校2年生 書道部 貝瀬 俐旺さんの書道作品です

発行/群馬県議会 編集/県議会図書広報委員会
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 TEL 027-226-4131 (政策広報課)

県議会 新体制で始動 第2回定例会開催



大日向の火とぼし(南牧村)

大日向の火とぼしは、南牧村の大日向地区で400年以上続く伝統的な火祭りです。毎年8月14・15日に、南牧川に架かる大日向橋で藁束に火をつけ、笛や太鼓に合わせてぐるぐると回すのが特徴で、国の選択無形民俗文化財に指定されています。

第2回定例会のあらまし

▶令和7年第2回定例会は、5月22日から6月13日までの23日間にわたって開催されました。

▶議案

知事からは、県内の公立・私立高等学校等に通学する年収約910万円以上の世帯の高校生等を対象とした新たな授業料支援や、群馬県民会館エリアの利活用を幅広く検討するための基礎調査の経費等、**18億5,274万円を増額する一般会計補正予算案**や副知事及び監査委員の選任など**計25議案**が提出されました。

また、議会からは、特別委員会の設置に係る議案等3件と意見書案1件の計4議案が発議されました。

▶議長・副議長選挙及び各委員会委員の選任

5月22日の開会日には、議長・副議長の選挙、議会運営委員の選任、特別委員会の設置、常任・特別委員会委員の選任が行われました。(2面及び4面参照)

▶質疑及び一般質問

12人の議員による質疑及び一般質問のほか、6月13日には、一般会計補正予算案について2人の議員が質疑を行いました。

▶常任委員会・特別委員会

各常任委員会、各特別委員会が開催され、付託議案や所管する事項などについて審査を行いました。

▶議決

議決は、5月22日及び6月13日に行われました。

知事から提出された**25議案**は、全て**可決・承認・同意**されました。議会から発議された**4議案**は、全て**可決**されました。



請願・陳情の手引きの詳細はこちら

▶可決された主な議案

- 令和7年度群馬県一般会計補正予算(第2号)
- 群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例関係代執行費用徴収条例
 - ：群馬県土砂等による埋立て等の規制に関する条例等に基づき命じた措置の代執行に要した費用の徴収に関し、必要な事項を定めようとするもの
- 群馬県民会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例
 - ：群馬県民会館を廃止しようとするもの

▶可決された意見書

- 「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産への2028年登録を推進することを求める意見書

令和7年度 議会構成決まる

議長・副議長、各常任委員会、各特別委員会(4面参照)などの議会構成が決まりました



議長・副議長就任記者会見を行いました



5月22日に新たに議長に就任した井下泰伸議員(写真左)と副議長に就任した伊藤清議員(写真右)が記者会見を行いました。

井下議長は、「県民のために、県議会がその役割をしっかりと果たせるように、公平公正で円滑な議会としていきたい」と抱負を述べたほか、政治を志したきっかけや、心に残っているエピソードなどについて、記者の質問に答えました。

群馬県議会議長



井下 泰伸
(自・伊勢崎市・4期)

群馬県議会副議長



伊藤 清
(自・安中市・3期)

CHECK!

各議員紹介ページはこちらから！
50音順・選挙区別・党派別・委員会別などから検索できます！



議員氏名
(党(会)派名・選挙区・期数)

【党(会)派名】

自=自由民主党、つ=つる舞う

リ=リベラル群馬、公=公明党

共=日本共産党、維=群馬維新の会

※令和7年6月13日現在

総務企画常任委員会

新たな重要施策の企画・立案、情報発信、自主財源の伸長、危機管理、地域振興、芸術文化・スポーツの振興などのほか、他の常任委員会の所管に属さない事項について審査(調査)を行います。

委員長

副委員長



高井 俊一郎
(自・高崎市・2期)



矢野 英司
(自・富岡市・2期)



井田 泉
(自・佐波郡・5期)



水野 俊雄
(公・前橋市・5期)



金井 康夫
(自・沼田市・4期)



本郷 高明
(リ・前橋市・3期)



井田 泰彦
(つ・桐生市・3期)



相沢 崇文
(自・桐生市・2期)



宮崎 岳志
(維・前橋市・1期)



丹羽 あゆみ
(自・みどり市・1期)

健康福祉常任委員会

消費者行政の推進、私学振興、少子化対策、保健医療対策の充実、社会福祉・社会保障の充実、食品の安全確保などについて審査(調査)を行います。

委員長

副委員長



牛木 義
(自・甘楽郡・2期)



今井 俊哉
(自・太田市・1期)



久保田 順一郎
(自・邑楽郡・7期)



星名 建市
(自・渋川市・5期)



大和 勲
(自・伊勢崎市・3期)



金沢 充隆
(つ・藤岡市・多野郡・2期)



鈴木 敦子
(リ・高崎市・2期)



鈴木 数成
(自・前橋市・1期)



大沢 綾子
(共・高崎市・1期)

環境農林常任委員会

環境対策、林業振興対策、食料・農業・農村振興対策、農林漁業災害対策などについて審査(調査)を行います。

委員長

副委員長



亀山 貴史
(自・桐生市・2期)



水野 喜徳
(自・吾妻郡・1期)



橋爪 洋介
(自・高崎市・6期)



後藤 克己
(リ・高崎市・5期)



須藤 和臣
(自・館林市・4期)



川野辺 達也
(自・邑楽郡・3期)



粟野 好映
(つ・安中市・1期)



須永 聡
(自・伊勢崎市・1期)

産経土木常任委員会

中小企業の振興、観光物産の振興、労働者支援と労働環境整備、道路・橋梁の整備促進・維持管理、河川・砂防対策の促進、災害復旧対策などについて審査(調査)を行います。

委員長

副委員長



斉藤 優
(自・伊勢崎市・2期)



追川 徳信
(自・高崎市・2期)



狩野 浩志
(自・前橋市・6期)



あべ ともよ
(つ・太田市・5期)



酒井 宏明
(共・前橋市・4期)



安孫子 哲
(自・前橋市・4期)



薬丸 潔
(公・太田市・4期)



大林 裕子
(自・北群馬郡・2期)



森 昌彦
(自・邑楽郡・2期)



中島 豪
(自・高崎市・1期)

文教警察常任委員会

教育施設の整備促進、教育体制の確立、交通事故防止対策、高齢者犯罪対策などについて審査(調査)を行います。

委員長

副委員長



松本 基志
(自・高崎市・2期)



入内島 道隆
(自・吾妻郡・2期)



星野 寛
(自・利根郡・7期)



金子 渡
(つ・渋川市・4期)



伊藤 清
(自・安中市・3期)



加賀谷 富士子
(リ・伊勢崎市・3期)



秋山 健太郎
(自・太田市・2期)



松本 隆志
(自・館林市・1期)



清水 大樹
(公・高崎市・1期)

CHECK!

委員会ってなに？

県の仕事は、非常に幅広く、複雑化しており、会期中の本会議の中だけで、たくさんの議案や必要な議決事項をきめ細かく審議することは困難です。そこで、これらを効率よく審議するため、専門的かつ詳細に審査する議会の機関として、少人数の議員で構成する委員会が設置されています。委員会には常任委員会と特別委員会があり、群馬県議会では現在5つの常任委員会と4つの特別委員会が設置されています。

質疑及び一般質問

令和7年5月28日、29日、6月2日に開催された質疑及び一般質問では、次の議員が質疑を行いました。
各議員の質問の中から1問をピックアップし、その要旨を掲載します。

CHECK! 白熱議論を映像でご覧ください!

各議員の横にある二次元コードから、掲載の質疑及び一般質問の映像を見ることができます

5月28日（水）



相沢 崇文 自由民主党
(桐生市)



▶ 米国関税措置に対する県の対応について

Q 今般の米国の関税措置により、県内経済への影響が懸念されるが、これに対する県の対応について伺いたい。

A 知事

群馬県の基幹産業は自動車を中心とする製造業であり、関税措置による影響は大きく、危機感を抱いている。そのため、国に対し、製造業を守り、更に将来にわたって成長するための取組への支援を要望した。また、県内自動車関連企業が多く進出している米国インディアナ州を訪問し、州知事に引き続きの支援を要請した。短期的な影響を最小限に留め、群馬県が成長するための取組を進めていく。

5月29日（木）



大和 勲 自由民主党
(伊勢崎市)



▶ 県職員の兼業について

Q 職員のスキルや意欲を地域に還元することは重要であり、その経験が職員の能力向上につながると思うが、知事の考えを伺いたい。

A 知事

部活動のスポーツ指導や消防団など、県職員の兼業件数は年間260件程度である。これらの活動は、社会性・公益性の高い重要な活動であり、職員の関心も高まっているとともに、県の内部では得られない知識や経験を身につけて成長する機会となる。今後、兼業の意義や許可基準の明確化を検討し、職員が公務以外のフィールドでも活躍し、その能力を高めることができる環境を作ってまいりたい。

6月2日（月）



矢野 英司 自由民主党
(富岡市)



▶ 世界遺産等の魅力発信について

Q 群馬県の魅力を、絹（SILK）及び温泉文化（ONSEN）をコンテンツとして世界に発信すべきと思うが、知事の考えはどうか。

A 知事

群馬の「絹（SILK）」と「温泉文化（ONSEN）」は、世界に誇るべきコンテンツであり、積極的に世界に発信し、群馬県の魅力をさらに高めていきたい。また、「富岡製糸場と絹産業遺産群」は群馬県にとって重要な文化遺産であり、群馬県と富岡市の若手職員及び地元の民間事業者による検討チームを立ち上げ、レガシー形成事業の実現に向けた、具体的な検討を進めてまいりたい。



井田 泰彦 つる舞う
(桐生市)



▶ 県の業務委託の今後の方向性について

Q 職員の人材育成や行政の専門性向上などの観点から、今後は外部委託を推進するだけでなく、業務の内製化を検討すべきと思うが知事の考えはどうか。

A 知事

県では、職員が自らの知恵と行動力をもって業務遂行することを基本としており、様々な成果をあげてきた。一方で、外部の知見やノウハウ、リソースを活用することも必要である。ワズスペンディングの観点から、事業の委託は慎重に議論し決定している。県民にとってベストな結果をもたらすために、外部の力も借りながら、職員が知恵と経験、能力を最大限に発揮できるよう努めていきたい。



清水 大樹 公明党
(高崎市)



▶ 難聴児補聴器購入等支援事業について

Q 購入費助成の対象外とされている補聴援助システム^(※1)を助成対象にすべきと思うがどうか。

A 生活こども部長

難聴児補聴器購入等支援事業は、軽度及び中等度の難聴児の言語習得等における健全な発達を支援するものであり、これまで、対象となる聴力レベルの範囲拡大や所得制限を撤廃するなど、難聴児や保護者の要望を踏まえ、必要な見直しを行ってきた。まずは早期に補聴援助システムの需要調査を実施し、医療や教育分野等の有識者から意見を聴き、市町村と協議しながら検討してまいりたい。



あべ ともよ つる舞う
(太田市)



▶ ぐんま賃上げプロジェクトについて

Q ぐんま賃上げプロジェクトの中核事業である「ぐんま賃上げ促進支援金」の進捗はどうか。また、今後の進め方と見通しはどうか。

A 産業経済部長

「賃金と消費の好循環」を実現するため、「ぐんま賃上げプロジェクト」を立ち上げた。プロジェクトの中核である「ぐんま賃上げ促進支援金」は、「5%以上」賃上げを行った中小企業等に最大100万円の支援金を給付するもので、現在、申請受付の準備を行っている。具体的な開始時期が決まり次第、市町村や支援団体などに周知を行う予定である。



森 昌彦 自由民主党
(邑楽郡)



▶ 東洋大学板倉キャンパスの跡地利用について

Q 板倉町は、利用が促されることも期待して、跡地へ課税する方針を固めた。跡地利用について、現在の交渉等の状況と、今後の見通しを伺いたい。

A 知事

令和2年3月にキャンパス移転が決定し、跡地の利用について、県、町、東洋大学の三者で協議を続けているが、具体化には至っておらず、未利用地の返還については大学から意思表示がない。板倉町が固定資産税を課税することで、大学が検討を進めるきっかけになればと思う。跡地利用は大学の責任において検討してもらう必要がある。望ましい形での利活用が図られること、未利用地の返還など、大学に対してしっかり伝えていきたい。



牛木 義 自由民主党
(甘楽郡)



▶ こんにゃくの消費拡大について

Q こんにゃくの機能性を生かし、医療分野などの新規用途での利用も消費拡大に有効であると思うが、製品開発に向け、研究を進める企業・団体等との連携について伺いたい。

A 農政部長

低迷するこんにゃく需要を拡大するためには、新規用途開発に取り組むことが重要である。産学官連携研究の仕組み「[知]の集積と活用^(※2)」により、こんにゃくの研究が進められ、新規用途での製品開発につながるよう、民間企業や群馬大学との連携を深めたいと考えている。参画企業、群馬大学、県とで、こんにゃくに関する研究開発プラットフォームをつくり、機能性成分を活かした製品開発を促進してまいりたい。



入内島 道隆 自由民主党
(吾妻郡)



▶ 親保険制度^(※3)の群馬県版の実施について

Q 制度変更については柔軟であるべきで、目指すべきは進行形社会であると思う。親保険制度の群馬県版を実施してはどうか。

A 知事

人口減少社会において日本が競争力を保っていくには、群馬県が力を入れているデジタルクリエイティブ教育のように、現実を踏まえた政策を考えなければならない。親保険制度については、育児休業制度が国の雇用保険制度を基にしているため財政的に課題があり、市町村を絞って試験的に実施できるか難しい問題があるが、新しい政策を恐れずに実施していく群馬県であるために、研究を進めてまいりたい。



鈴木 敦子 リベラル群馬
(高崎市)



▶ 県立高校の未来像について

Q 私立高校の授業料無償化による県立高校離れを危惧している。多様な生徒を県立高校で受け入れることによる特色ある学校づくりについて伺う。

A 知事

多様な困り感を持つ生徒には、スクールカウンセラーの配置など直接的な支援や、「つなサポ」などオンラインを活用した支援を行うと同時に、教職員に対しても研修や動画視聴を通じ、対応力の向上を図っている。さらに、非認知能力の育成や、デジタルクリエイティブ人材育成のための環境整備にも取り組んでいく。誰一人取り残さない包摂的な教育の実現に向けて全力で取り組んでまいりたい。



須永 聡 自由民主党
(伊勢崎市)



▶ 朝のこどもの居場所づくりについて

Q 朝のこどもの居場所づくりにおいて、学校施設を活用することについてどのように考えるか。

A 教育長

教員の多忙化や不足が課題となっている中で、学校施設を活用することが教員の新たな負担になることを避ける工夫が必要である。他県ではNPO法人やシルバー人材センターなどの外部団体に運営を委託している事例もある。外部団体への委託や子どもの安全に配慮した施設の活用・管理などについて先行事例を集め、市町村教育委員会と情報共有してまいりたい。



橋爪 洋介 自由民主党
(高崎市)



▶ 「第83回国民スポーツ大会・第28回全国障害者スポーツ大会」について

Q 本県で開催される国スポ・全スポへの知事の思いはどうか。また、群馬県スポーツ競技力向上対策推進本部の意義についても併せて伺いたい。

A 知事

総合優勝を目指すため、現場の意見を聞き、令和7年度の競技力向上に係る予算額を倍増し、選手強化を進めている。ネットメディアや民間アイデアを活用し、大会の認知度向上や機運醸成に力を入れる。推進本部の意義は、成績の向上と大会後に残る選手強化の仕組みづくりを目指すことにある。関係者と一丸となり、私自ら先頭に立ち、記憶に残る素晴らしい大会を実現したい。

※1 補聴援助システム…話し手の声を専用のマイクから直接補聴器に送信することで、聞き取りやすさを向上させるもの ※2 「知」の集積と活用^(※2)…民間企業や生産者、大学、研究機関等の多様な人材が集まり、異分野の知識・技術・アイデアを導入し、産学官連携でスピード感を持って商品化を目指すもの ※3 親保険制度…スウェーデンにおいて、子どもが生まれて12歳になるまで親が480日（約16カ月）の有給育児休暇を分けて使えるように保障している制度



4つの特別委員会が設置されました

特別委員会は、県政の特に重要な特定事件を審査するために設置し、議会としての意見・提案をまとめます。

防災・減災・治安に関する特別委員会

付議事件

- ▶ 防災・減災に関すること
- ▶ 治安対策に関すること(子どもの安全含む)
- ▶ 公共インフラの老朽化対策に関すること



委員構成

- ◎久保田順一郎(自) ○松本 基志(自) 井田 泉(自) 水野 俊雄(公)
- あべともよ(つ) 須藤 和臣(自) 加賀谷富士子(リ) 高井俊一郎(自)
- 秋山健太郎(自) 宮崎 岳志(維) 今井 俊哉(自)

「ヤード」対策等に関する特別委員会

付議事件

- ▶ 「ヤード」対策に関すること
- ▶ 廃棄物処理に関すること
- ▶ 再生可能エネルギー・グリーンイノベーションに関すること



委員構成

- ◎星野 寛(自) ○斉藤 優(自) 安孫子 哲(自) 薬丸 潔(公)
- 川野辺達也(自) 本郷 高明(リ) 井田 泰彦(つ) 森 昌彦(自)
- 矢野 英司(自) 鈴木 数成(自) 松本 隆志(自) 大沢 綾子(共)

スポーツ・文化に関する特別委員会

付議事件

- ▶ スポーツの推進に関すること(部活動の地域移行含む)
- ▶ 湯けむり国スポ・全スポぐんまに関すること
- ▶ 伝統文化の継承・支援に関すること
- ▶ 観光振興・情報発信に関すること
- ▶ 多文化共生に関すること



委員構成

- ◎橋爪 洋介(自) ○大林 裕子(自) 酒井 宏明(共) 大和 勲(自)
- 入内島道隆(自) 亀山 貴史(自) 鈴木 敦子(リ) 栗野 好映(つ)
- 水野 喜徳(自) 中島 豪(自)

地域支援に関する特別委員会

付議事件

- ▶ 中小企業支援・物価高騰対策に関すること
- ▶ 公共交通・交通イノベーションに関すること
- ▶ 次世代産業(デジタル・クリエイティブ産業)の振興に関すること
- ▶ 公契約条例に関すること
- ▶ 米関税対策に関すること



委員構成

- ◎狩野 浩志(自) ○相沢 崇文(自) 星名 建市(自) 後藤 克己(リ)
- 金井 康夫(自) 金子 渡(つ) 金沢 充隆(つ) 牛木 義(自)
- 追川 徳信(自) 須永 聡(自) 丹羽あゆみ(自) 清水 大樹(公)



その他の委員会構成

議会運営委員会

議会がスムーズに運営できるよう、議会運営の全般について協議を行います。

- ◎須藤 和臣(自) ○秋山健太郎(自) 狩野 浩志(自)
- 橋爪 洋介(自) 水野 俊雄(公) あべともよ(つ)
- 金井 康夫(自) 金子 渡(つ) 大和 勲(自)
- 川野辺達也(自) 本郷 高明(リ) 矢野 英司(自)
- 相沢 崇文(自)

図書広報委員会

議会の広報、議会図書室の運営について協議を行います。

- ◎大林 裕子(自) ○亀山 貴史(自) 金沢 充隆(つ)
- 追川 徳信(自) 鈴木 敦子(リ) 丹羽あゆみ(自)
- 今井 俊哉(自) 水野 喜徳(自) 清水 大樹(公)
- 中島 豪(自)

議会基本条例推進委員会

議会基本条例の理念を実現するため、議会改革等について協議を行います。

- ◎星野 寛(自) ○矢野 英司(自) 金井 康夫(自)
- 薬丸 潔(公) 大和 勲(自) 川野辺達也(自)
- 加賀谷富士子(リ) 入内島道隆(自) 相沢 崇文(自)
- 秋山健太郎(自) 栗野 好映(つ) 中島 豪(自)

【凡例】◎は委員長、○は副委員長

自=自由民主党、つ=つる舞う、リ=リベラル群馬、公=公明党

共=日本共産党、維=群馬維新の会 ※令和7年6月13日(第2回定例会閉会日)現在

群馬県議会だよりは、県議会の議論や決定内容を県民の皆様はじめ読者の皆様にお伝えすることを目的としています。今回の第105号は、第2回定例会閉会日(令和7年6月13日)現在の状況で作成しています。

議員異動のお知らせ

安孫子哲 議員 安政会→自由民主党(令和7年6月7日)

令和7年第3回定例会のご案内

会期は9月18日から12月12日までの予定です。

テレビやインターネットによる中継をしています。ぜひご覧ください。

本会議・委員会は、どなたでも傍聴することができます。

月日	曜日	議事予定	月日	曜日	議事予定
9月18日	木	本会議 (前期開会・提案説明)	10月23日	木	決算特別委員会 (総括質疑・採決)
24日	水	本会議 (質疑及び一般質問)	28日	火	本会議 (決算委員長報告・議決)
25日	木		11月21日	金	本会議 (後期開会・提案説明)
29日	月	常任委員会	27日	木	本会議 (質疑及び一般質問)
10月1日	水		28日	金	
2日	木	特別委員会	12月2日	火	常任委員会
6日	月		4日	木	
9日	木	本会議 (委員長報告・議決・決算提案説明)	5日	金	特別委員会
15日	水	決算特別委員会 (分科会)	9日	火	
16日	木		12日	金	本会議 (委員長報告・議決・閉会)

※会期は予定ですので、変更される場合もあります(開会はおおむね午前10時からです)

県議会中継

テレビ 群馬テレビ 午前10時〜〈生中継〉

本会議(質疑及び一般質問)をご覧ください。



インターネット 県議会ホームページ【議事中継】(生中継・録画)

本会議(全日程)と決算特別委員会総括質疑をご覧ください。



スマートフォンでの視聴はこちらから↑



議会図書室について

一般の方もご利用いただけます。



利用時間: 平日の午前8時30分から午後5時15分まで(土曜日・日曜日・祝日、年末年始は休室しています)

▶ 利用案内詳細は、右の二次元コードからご覧ください。



Information

県議会だより電子書籍版(カタログポケット)は、スマートフォンや、タブレット端末等でご覧になれます。音声読み上げ機能(10言語)にも対応しています。閲覧方法は、こちらからご確認ください。



過去の県議会だよりは、こちらからご覧ください。



県議会ホームページ

群馬県議会 検索

県議会の最新情報は公式 SNS でも発信しています。



群馬県議会YouTube

群馬県 YouTube 公式チャンネル tsulunon



- 「県議会だより」は年4回発行しています。次号は、令和7年11月2日(日)発行予定です
 - 「県議会だより」のご意見については、政策広報課へお寄せください
- ☎ 027-226-4131 FAX 027-221-8201 ✉ giseisaku@pref.gunma.lg.jp